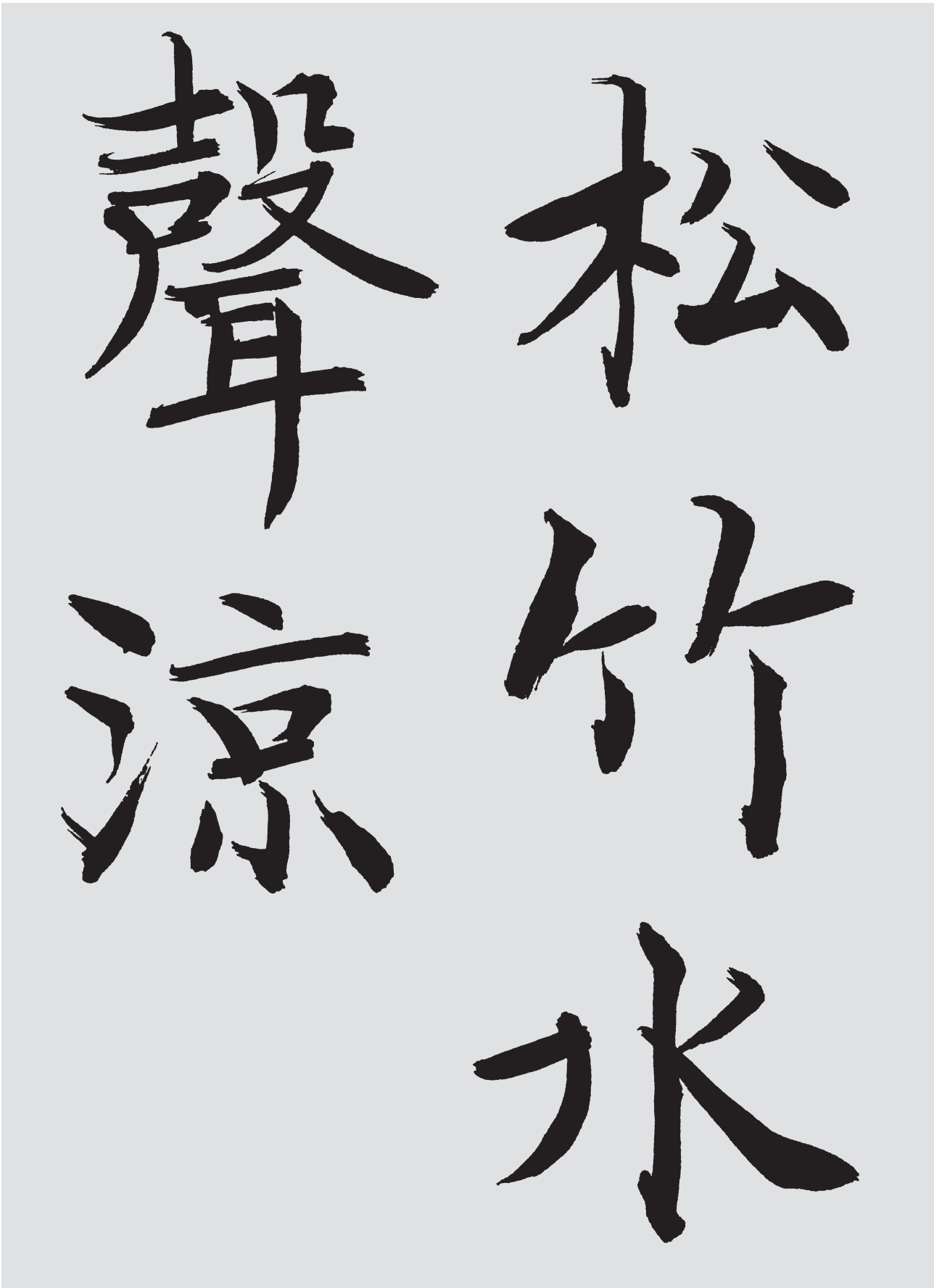


参 考 手 本

松竹水聲涼しょうちくすいせいずし



※これは規定課題ではありません。

成瀬映山先生

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



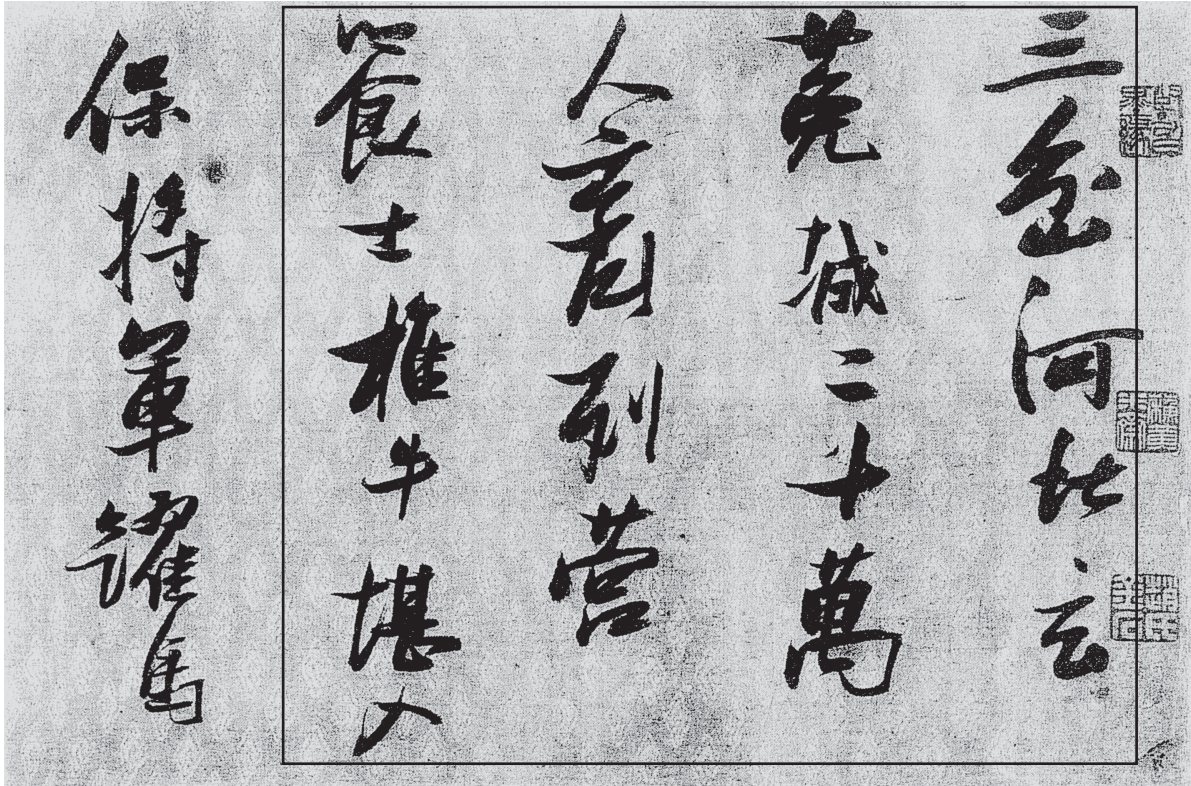
杯さかづき 深く和して月つきを吸いす

高 木 聖 雨 先生

条幅規定

A部 (準五段以上)

B部 (四段～準三段)



張瑞函 (明) 『感遼事作六首卷』①

三岔河北玄菟城

二十萬人齊列營

饗士椎牛堪入保

將軍躍馬

三岔河さんたかの北 玄菟城げんとじょう

二十萬人 齊ひとしく營を列つらぬ

士を饗し牛を椎つせば 入りて保つに堪え

將軍 馬を躍おどらせて

三岔河の北、玄菟城では、

二十万人が一齐に陣營を並べる。

牛を殺して兵士をもてなせば、守るに充分、

馬を躍らせる將軍は

【今月の課題】

「三岔河北玄菟城二十萬人齊列營饗士椎牛堪入」(20字)

〔この課題を同月の条幅随意には出品出来ません〕

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く
段・級を記入してください

(6月10日締切)

条幅規定

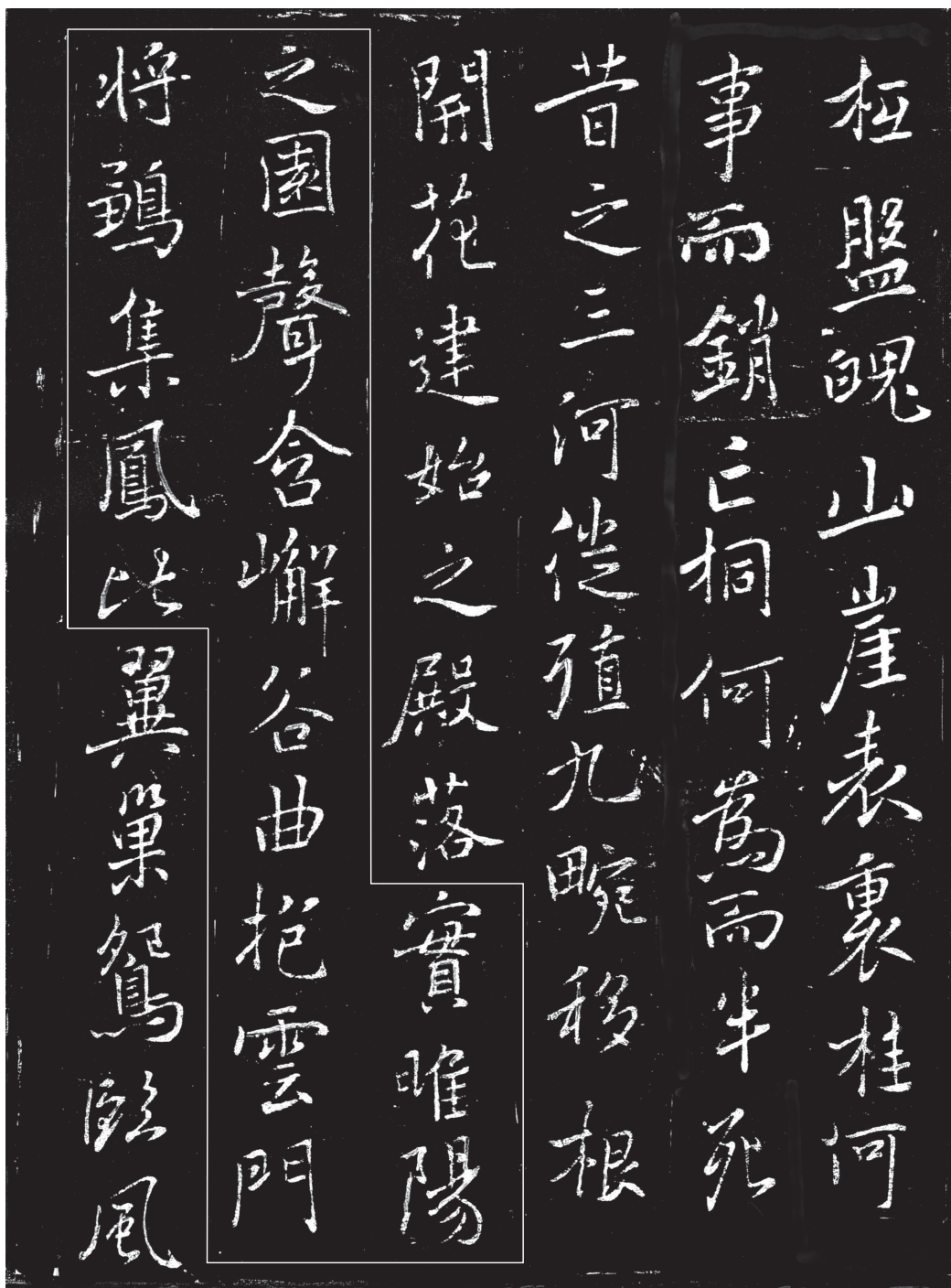
C部 (二段以下)

『枯樹賦』

楮遂良

(唐)

⑥



杙盤魄。山崖表裏。桂何事而銷亡。桐何爲而半死。昔之三河徙殖。九畹移根。開花建始之殿。落實睢陽之園。聲含嶰谷。曲抱雲門。將雛集鳳。比翼巢鴛。臨風

(根) 杙 山崖の

表裏に盤魄たり。

桂は何事ぞ銷亡せる、

桐は何爲れぞ半死せる。

昔は之れ三河に

殖を徙し、九畹に根を移す。

花を建始の殿に開き、

実を睢陽の園に落とす。

声は嶰谷を含み、

曲は雲門を抱く。

雛を將いて鳳を集め、

翼を比べて鴛を巢くわす。

風亭に臨みて

【今月の課題】 「實睢陽之園聲含嶰谷曲抱雲門將雛集鳳比翼巢鴛臨風」 (18字)

【この課題を同月の条幅随意には出品出来ません】

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(6月10日締切)

半紙規定 (二)

※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書 〔二級以下〕楷書



九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)

揚清波滌蕩

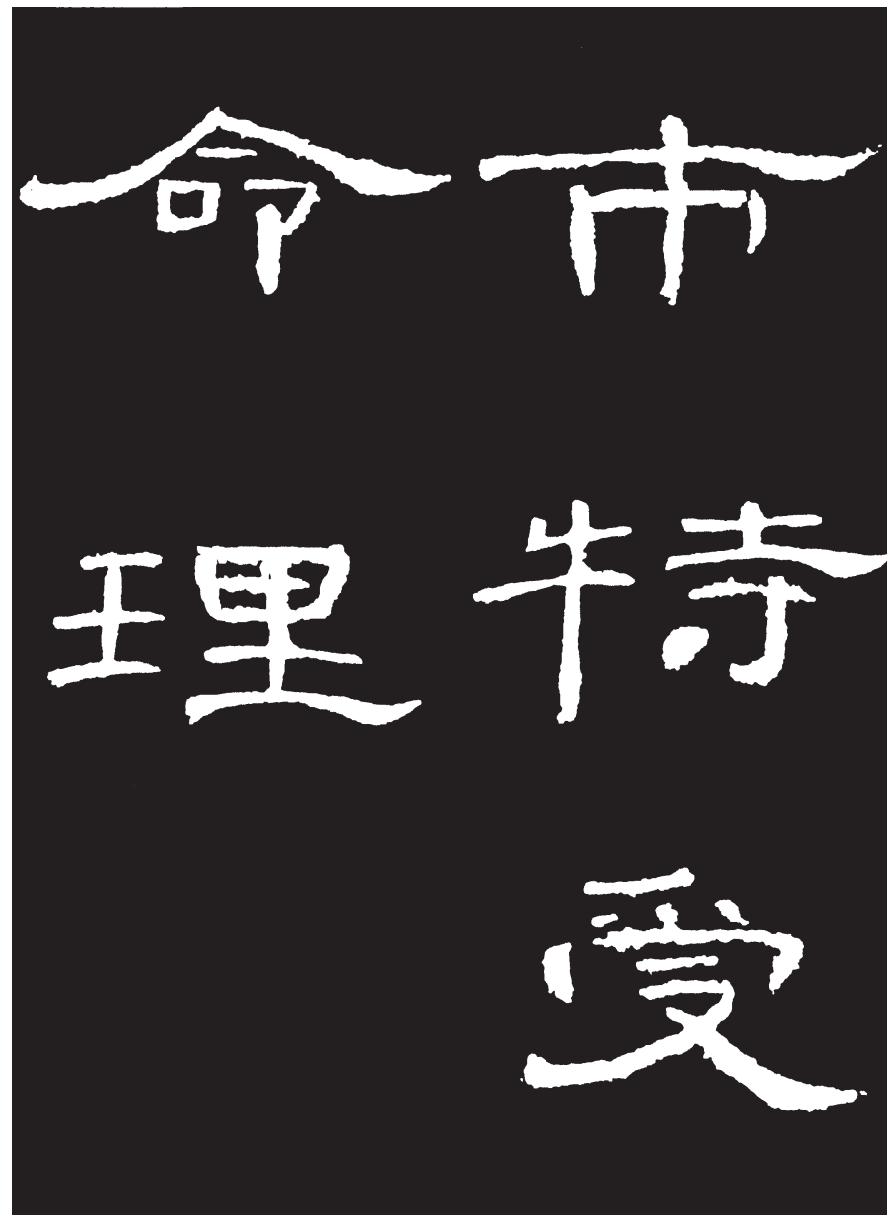
・清波を激揚し、
・かあ・い・で・き・と・う
・か・あ・い・で・き・と・う
・き・せ・ん・を・滌・蕩・す

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

・ち・じ・を・熾・く・に・、・特・に・命・を・受・け・て・、・残・圮・を・理・め

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)



市特受命理

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕
(6月10日締切)

条幅参考手本

疏點空塔雨長明古殿燈廬
 山岑寂夜我是定中僧

野口紫仙先生

疎點空塔雨 長明古殿燈 廬山岑寂夜 我是定中僧

疎点空階の雨 長明古殿の灯 廬山岑寂の夜 我は是れ定めて僧に中る

渡邊南嶂先生

三泖涼波動 五湖飛雁多 蕭然江海意 一爲扣舷歌
 然江海意一為扣舷歌

三泖涼波動 五湖飛雁多 蕭然江海意 一爲扣舷歌

三泖涼波動き 五湖飛雁多し 蕭然たり江海の意 一たび為す扣舷の歌

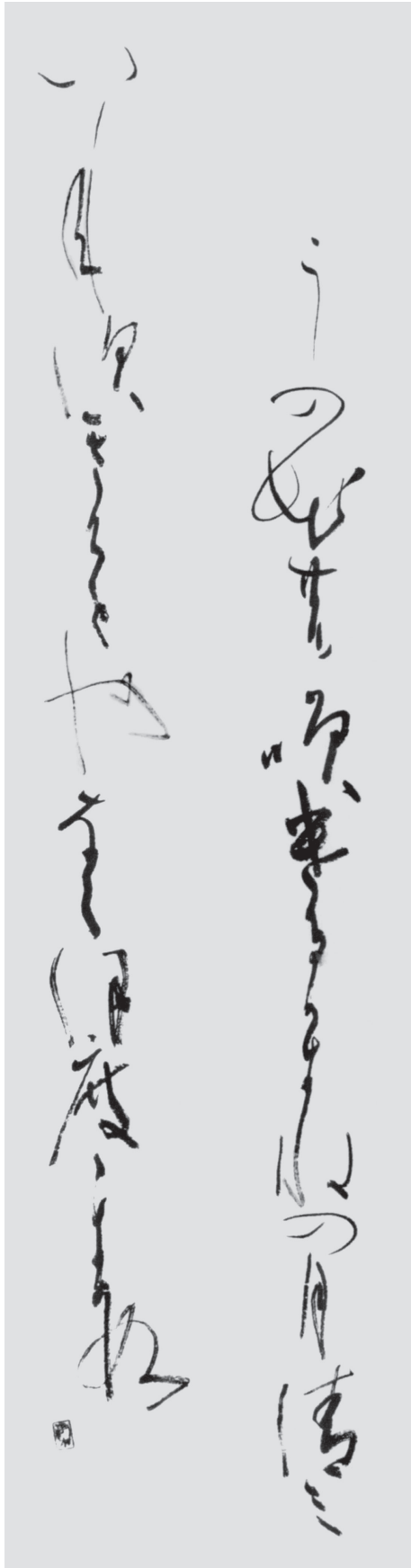
条幅参考手本

条幅かな



渡辺美珠先生

燕趙悲歌士 相逢劇孟家 寸心言不盡 前路日將斜
 燕趙悲歌の士 相逢う劇孟の家 寸心言い盡さず 前路日將に斜ならんとす



浮乗清郷先生

卯の花のさける垣根の月清みいねずきけとや鳴く郭公(読人知らず)
う 卯 花の さける 垣根の 月清みいねずきけとや 鳴く 郭公 (読人知らず)
農 咲 遣 可支ね 三 年 須 个 奈 保度、支数

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左下部に添え書きして下さい。

(6月10日締切)

半紙かな（1級以下）

春更はるふけて諸鳥もろどり啼なくや雲くもの上うへ（前田普羅）

支部名 級 姓 号（鉛筆可）

※ちらし文字変換は自由

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

半紙かな（初段以上）

ここかしこ岸根きしねのいばら花咲はなざきて夏なつになりぬる川かはぞひの道みち（木下幸文）

支部名 段 姓 号（鉛筆可）

小林 素水 先生

※ちらし文字変換は自由

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

（6月10日締切）

実 用 文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

〈書風任意〉

古い書画だけじゃなく他のジャンル
にも関心を持ち、触れてみるこ
は、表現の幅や知識の広がりを得
る為には大切なことである。
支部 役級 姓号

朝 平 霞 山 先 生

(6月10日締切)

細 字

陽炎絲幻霞堤楊柳
 陽炎絲幻霞堤楊柳
 陽炎絲幻霞堤楊柳
 陽炎絲幻霞堤楊柳

支 部

段 級

姓

号

(名前は必ず楷書で書くこと)

※一級〜八級は草書まで。

初段以上は隷書まで。

※名前は楷書以外では違反になります。

17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

陽よう 炎えん 絲し 幻げん

かげろう。 霞か 堤てい

まぼろしの糸のよう。

霞の立ちこもっている土堤。

(6月10日締切)

硬筆（1級以下）

2行、楷書

「北限の茶どころ」村上市の茶畑
 で、茶摘みが始まった。
 支部名 級 姓 号

硬筆（初段以上）

3行、行草書

…都市…先づ…移り変り…
 自然から遠ざかるばかりの都市の
 人間は街路樹によつて先づ春夏
 秋冬の移り変りを知る。
 支部名 級 姓 号

齊藤 翦流 先生

青柳 江雲 先生

※本院定型用紙・たて半分を書く

（6月10日締切）

中2用

校名	草花	野山
名前	の	

渡邊南嶂先生

中3用

校名	成長	記録
名前	の	

大越三宗先生

小6用

校名	野広
名前	原い

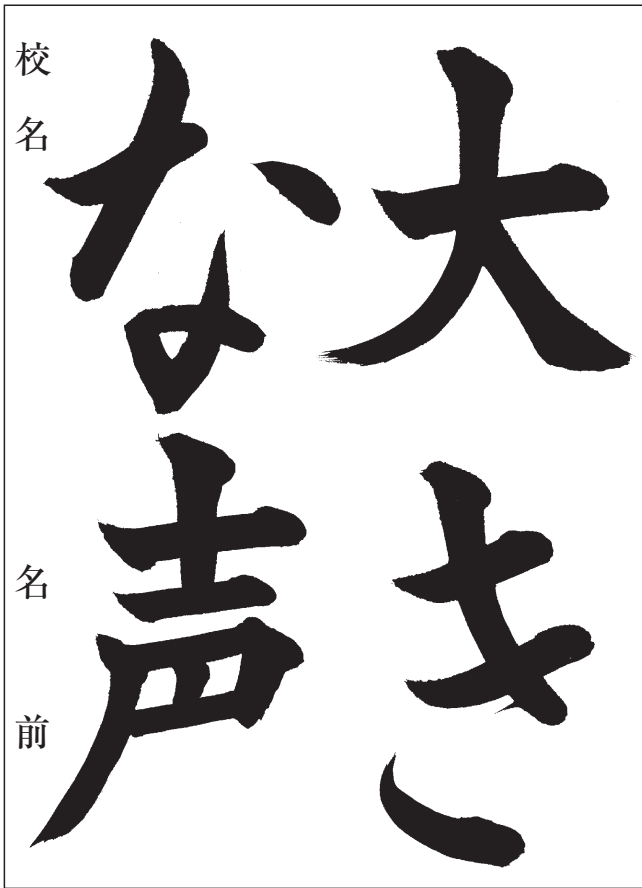
渡邊南嶂先生

中1用

校名	夏山	登る
名前	に	

渡邊南嶂先生

小4用



校名

名

前

大越三宗先生

小5用



校名

名

前

大越三宗先生

小2用



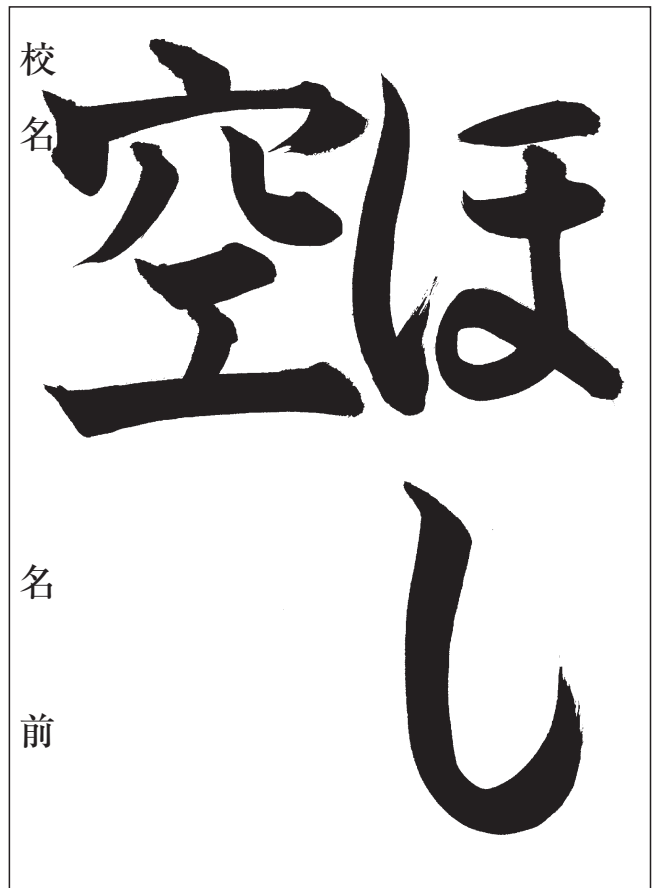
校名

名

前

鈴木翡翠先生

小3用



校名

名

前

鈴木翡翠先生

中1

地球の資源である森林は、地球にとって宝です。

中1~中3

中2

他人の批判より、自己反省に心を向けよう。

青柳江

中3

短歌と俳句は我が国独特に発展したものだ。

雲先生

小1・幼年用

校名

名前

はと

鈴木蕙先生

小1・幼年

かもめ、はくちょう、あひる、うぐいす。

小1~小3

小2

田んぼの水にお日さまがきらきらうつる。

鈴木蕙

小3

きれいな花や、うつくしい音楽がすきです。

翠先生

小4

庭の草花が、いつせいにさき始めました。

小4~小6

小5

広い野原を思うぞん分か、かけ回ってみたい。

田辺翠

小6

田園の風景がみずみずしい季節。初夏も近い。

鶴先生

学生書道コンクール課題（6月9日締切）